

おがまち日奈久ニュース

4年ぶりに開催 盛り上がったふれあい祭

主催 日奈久住民自治会 主管 スポーツ文化部会



日奈久校区ふれあい祭

3月4日(土)午前9時から、日奈久ゆめ倉庫において日奈久校区ふれあい祭が、4年ぶりに行われ、150名以上の参加者を得て、盛大に開催されました。日本舞踊・太極拳などそれぞれの団体が普段の練習の成果を十分に発揮し、大きな盛り上がりを見せました。最後の合唱ではアンコールで唱歌「故郷(ふるさと)」を会場の全員で熱唱。

会場の外では婦人会バザーがあり、アグリ日奈久から大量の野菜の寄付もあり、大盛況でした。格安で販売し、売上金は、住民自治会と婦人会の活動資金に活用させていただきます。

ミニゲームコーナーでは、竹箆で大豆移動ゲームなどが行われ、歓声があがっていました。手作りポツプーンも大人気でした。



橋本裕二館長

この度、私事ではございますが、令和5年3月31日をもちまして、日奈久ゆめ倉庫(九州総合サービス株式会社)を退社する運びとなりました。

日奈久ゆめ倉庫開設から11年、日奈久の皆様を支えられ、おかげで頑張ることが出来、ここまで来ることが出来ました。何者でもなかった私を『日奈久ゆめ倉庫の館長』として育てていただき誠にありがとうございました。皆様と共に日奈久地域の活性化に向けた取り組みが出来たことを誇りに思います。

大変お世話になりました！ ゆめ倉庫 橋本館長 退職

熊本地震の際には、自らの判断で、臨時避難所としてホールを開放しました。その後チームラブひなの皆さんと新しいことにも取り組んでまいりました。これらは、日奈久の先を見据えた取組につながっています。

大変お世話になりました。4月からは、DMOやつしるに勤務されることになりました。橋本館長には、今後の活躍をお祈りします。

令和5年4月号 (第164号) 発行者 日奈久住民自治会

日奈久の人口 (2月末現在)

男	1,092人
女	1,295人
計	2,387人

(前月比+1人) (2009年末3,444人)



一喜一憂のお楽しみ抽選会

れるたびに「喜一憂」の音があがっていました。久しぶりにふれあい祭が開催され、楽しい会話があちこちで聞かれ、一堂に会しての集まりが大切であることが再認識できました。

新たな6名の出発

日奈久中学校卒業式

3月3日(金)日奈久中学校では、6名の卒業式が挙行されました。園田英雄校長は、式辞の中で次のように語りました。

卒業生の皆さんは、入学後すぐに新型コロナウイルスの臨時休業がありました。7月には、豪雨で被災した坂本中の生徒がやってきました。その際も優しく声をかけ、交流を深めました。皆さんの優しさが、坂本中の生徒達にとって癒やしとなり、前を向いて進む力となりました。

3年生では、地域イベント「日奈久温泉母の日マルシェ」など地域貢献に努め、八代市から善行生徒として日奈久中生徒会が表彰されました。

さて、これからの時代は予測困難な時代といわれています。このような時代を生きていくために、次のことを大切にしていきたいと思えます。一つは、「夢の実現に向けて、い



新しい消防車がやってきた!(24分団)

3月19日(日)午前11時から、24分団の新しい消防車が、日奈久阿蘇神社でお披露を受けました。25年ぶりの新車で、機能も最新式となっています。団員がそり、新たな消防車を前に、さらなる活動への意気込みを誓いました。丸尾憲道団長は、「新車に変わったので、よりいっそう消防活動に邁進しようと思えます」と決意を新たにしていました。

「ありがとう」が行き交うまち 日奈久 身近な人に「ありがとう」愛する日奈久に「ありがとう」訪れる人に「ありがとう」



日奈久出張所よりお知らせ



出張所長 田並功光さん

大変お世話になりました。5年間お世話になりました。2度目の所長職で、自分にとってはやりやすかった5年間でした。皆様のおかげで定年までやり抜くことができました。本当にありがとうございました。



末山雅彦さん

令和2年からの勤務で、「人にやさしい窓口」を心がけて参りました。3月末日に定年退職します。日奈久の皆さんには大変お世話になりました。厚くお礼申し上げます。

献血にご協力を!

日時 4月11日(火) 午後2時30分~午後4時 場所 マルシヨク日奈久店 皆様のご協力をお願いいたします。

読者の広場

「かけてみないか君の青春」 馬越町 西村謙剛

日奈久は、温泉の町として栄え、豊かな自然に恵まれ、国際的に活躍された有名人も数多い。今は亡き、松村秀逸少尉大本営報道部長(後の参議院議員)、宮崎松記博士、伊豆富元元熊日社長、宮本三喜彦元安田生命保険会長など、愛郷心の強い人たちが発展に尽力された町です。馬越町国道3号線沿いに「かけてみないか君の青春」の立て看板を自

4月の行事から

- 10日(月)小中学校始業式
- 11日(火)小中学校入学式
- 29日(土) 昭和の日

- <住民自治会関係会議等>
- 13日(木)市政協力員例会
 - 17日(月)運営委員会
 - 18日(火)広報部会

住民自治会運営委員会から

3月15日(水)開催の運営委員会から、記事として扱っていない主な事項をお伝えします。

令和5年度は通常総会を開催します。津森小学校遭難の碑広場に植樹されていた樹木5本が伸びすぎていたため、3月4日に山本一樹氏に剪定をしていただきました。

柳山の清掃活動を実施

桜ウォークに向けて

3月20日(月)、市政協力員を中心とした12名が、桜ウォークに向けた柳山の清掃活動に汗を流しました。草刈りに合わせ、大きく伸びた木々の剪定に奮闘し、見晴らしも良くなりました。大変お疲れ様でした。



清掃活動に頑張ったメンバー

衛隊家族の会と隊友会(自衛隊OB)で立てました。日奈久は、自衛隊家族の会発祥の地(昭和39年発足)また、新春自衛隊激励会は、全国で一つだけ。これも日奈久から発信しており、やがて50年を迎えます。自衛官の中でも防大一期生、婦人自衛官二期生、少年自衛官では3佐まで昇任している人もいます。また、レントゲン技師の免許等に自己の生活に生かした人たちが多数います。「平和と自由」を守る自衛官を心から応援したいと思います。

童心にかえって 聴き入りました

そがみまこ「ひな祭りコンサート」

主管 企画イベント部会

3月4日(土)午後4時から日奈久ゆめ倉庫において第14回ひな祭りイベントの一つとして、童謡デュオの組で活動していたそがみまこ「ひな祭りコンサート」が行われました。約80名の参加がありました。遠くは岡山県・鹿児島県から参加がありました。

コンサートは、童謡を中心に15曲程披露されました。透き通った声・圧倒的な歌唱力で聴衆の心を掴んで、すぐに会場は一体感に包まれました。リズムに合わせて、体を揺らしながら聴き入る人も少なくありませんでした。ジェスチャーをつけて一緒に歌ったり、曲間に明るく楽しい話を交えたりして飽きることなく、あっという間に時間が過ぎていきました。



観客とふれあいながら歌うそがみまこさん



春を告げる灯り

春風に誘われて「ひなぐ竹灯り」

くまモンとそがみまこさんが盛り上げる!



灯りを前に記念撮影をする子供



光に照らされて、彩りを添えています。最終日の4日(土)は、くまモンとそがみまこさんが登場して盛り上げました。会場となったこの広場には、コンサートから引き続きたくさんの方々が訪れていました。そがみまこさんの伸びやかな歌声の後登壇したくまモンは、軽快な動きとともに愛嬌を振りまいて、歓声を受けていました。観客はその姿を写真に収めていました。これまで制作や設置、後片付けと奮闘された皆さん、大変お疲れ様でした。

和やかに、賑やかに

グラウンドゴルフ部会交歓会開催

2月23日(木曜日)日奈久ドリムランドに於いて、日奈久住民自治会主催、日奈久スポーツ協会グラウンドゴルフ部会主管で、日奈久校区民の健康増進と親睦を目的に、グラウンドゴルフ交歓会が開催されました。

- 当日は、早朝より小雨交じりの天候でしたが、午前9時30分からの開会式頃には雨もやみ、西村一夫部会長より競技内容の説明の後、直ちに競技が行われ31名の参加者の賑やかな声が大会会場に響き渡りました。成績は以下の通りです。(敬称略)
- 男性の部 1位 宮永 悟、2位 木村則生、3位 久保親弘
 - 女性の部 1位 吉田アツ子、2位 森田サエ子、3位 白浜ユキミ



「入れ!」気持ちをもて打つ参加者

九州国際スリーデーマーチ 婦人会がおもてなし



参加者にちぎり天を渡す婦人会のメンバー

九州国際スリーデーマーチ3日目の3月5日(日)は、金剛・日奈久千拓コース(30キロ)があり、約150人のウォーカーが訪れました。

ゆめ倉庫が折り返し点に当たり、参加者は、弁当を食べたり、休憩したりしていました。婦人会のメンバーがおそろいのジャンパーに身を包み、弁当の世話、水や日奈久名産のちぎり天などの配付に取り組みました。チームワーク良く、拍手で迎え、拍手で送り出しました。

ウインズ八代からのお知らせ

お世話になりました



林 康太 前所長

よろしくお祈りします



有田 雅貴 所長

3月1日付をもちまして、本部へ異動することとなりました。コロナ禍の2年間はありましたが、無事大過なく職責を全うすることができました。日奈久地区の皆様におかれましては平素よりウインズの運営にご理解・ご協力を賜り感謝する次第です。後任ともども引き続きウインズ八代をよろしくお祈りいたします。2年間ありがとうございました。

WBC「日本VS韓国」(東京ドーム)を観戦して 坂部 彰さん(山下町)

まず「おがまち日奈久ニュース」の編集及び発行に携わっておられる方々にお礼と感謝の気持ちを伝えたいです。毎号楽しみに読ませていただいています。

3月9日、リニューアルが進む熊本空港を朝9時出発。私にとっては久しぶりの東京。羽田空港も東京駅もずいぶんきれいになっていました。日本橋のホテルに到着。夜は八重洲の居酒屋でちよっと一杯。

さて、今回のWBC観戦のきっかけとなった話ですが、食事処「湯だまり」のオーナー・渋谷氏との野球談義を交わす中、若くして今年三冠王に輝いた村上宗隆選手の弟が、九州学院高校の3年生で4番バッターで今回秀岳館高校と対戦があるというところで、藤崎台球場に一人で観に行つたわけですね。そうした中、渋谷氏が「坂部さんWBC観に行かんですか」と言われ、私は、「行く行く」と即答。そして、チケットの抽選に当たり、観戦が現実となったのです。

翌日、電車を乗り継いで東京ドームへ。ドーム周辺も大きく様変わりしてました。高層ホテルが建ち、ジェットコースター等大型遊具が建ち並び、まさしく大型ドリームランドでした。そうした中、グッズ販売の列に並んだわけですが、何と4時間超の立ち並び、「80歳の壁」を超えた私にとっては大変でした。

いよいよドームに足を踏み入れたら、ここも様変わりしていました。座席シートにはクッションがつき、3塁側内野席20列目に座ったわけですが、球場内も素晴らしく、わくわくしながら選手達の姿に見入っていました。

フリーバッティングでは、大谷・山川選手はスタンドへ飛ばしていましたが、我が村上選手は不調で快音なしでした。両チーム練習後、真新しいベースに変えて試合開始



村上選手を応援(中央が坂部さん)

先発ダルビッシュの一投目、四万一千人のざわめきが一時静寂に変わったときは、鳥肌が立ちました。試合内容はテレビ放映の通り。ただ、この生での観戦は私の一生の宝物となりました。皆様には感謝です。

絶対だめ!不法投棄 大迷惑しています



12月18日に除草作業を行い、きれいになった新開町堤防。その際にも子供のおもちゃ等が不法投棄されていました。それから3ヶ月足らずの間に、また写真のような物が不法投棄されていました。同じような不法投棄が他の場所にも見られます。このような行為は法律違反です。地域住民も大変迷惑しています。今後絶対起こらないよう、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。